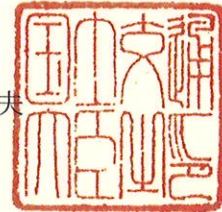


認 定 書

国住参建第 3519 号
令和 6 年 3 月 28 日

旭化成建材株式会社
代表取締役社長 山越 保正 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-3752-2(3)
2. 認定をした構造方法等の名称
③人造鉱物繊維断熱材充てん／鋼板・フェノールフォーム板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん／鋼板・フェノールフォーム板・構造用面材〔木質系ボード、セメント板、火山性ガラス質複層板又はせっこうボード〕表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

| 項 目 | 仕 様 |
|-----|-------------------------|
| 壁 高 | 構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法 |
| 壁 厚 | 161.85 以上 |

3. 材料構成

(1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

| 項 目 | 仕 様 |
|-----|---|
| 柱 | 材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1) 日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材 (2) 日本農林規格に適合する構造用単板積層材 ・ 寸法：105×105 以上 ・ 密度：0.38 (±0.08) g/cm ³ 以上 |
| 間柱 | 材料：日本農林規格の品質に適合する木材 (製材、集成材又は単板積層材) ・ 寸法：27×105 以上 ・ 間隔：500以下 |
| 外装材 | [1]材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1) 塗装板 ・ 材質：1)～11)のいずれか一仕様 1) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) 2) 塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318) 3) 塗装溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) 4) ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8028) 5) 両面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-9583、NM-9584) 6) 塗装／亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697) 7) 両面アクリル樹脂系塗装／亜鉛めっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8341、NM-8514) 8) フッ化ビニリデン樹脂系塗装／両面アクリル・塩化ビニル樹脂系塗装／亜鉛め っき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8400) 9) フッ素樹脂系塗装／裏面ポリエステル樹脂系塗装／アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-9662) 10) 両面ポリエステル樹脂系塗装／溶融アルミニウムめっき鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-1863) |

つづく

(別添－1)

| 項 目 | 仕 様 |
|----------|---|
| 外装材（つづき） | <p>11) 両面塩化ビニル樹脂系フィルム張／鋼板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-1955) ・有機質量：200(±20)g/m²以下（塗装品、フィルムの有機質量も含む）</p> <p>(2) 無塗装板 ・材質：1)～7)のいずれか一仕様 1) 溶融亜鉛めっき鋼板（JIS G 3302） 2) 溶融アルミニウムめっき鋼板（JIS G 3314） 3) 溶融 55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板（JIS G 3321） 4) 溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板（JIS G 3317） 5) 溶融亜鉛－アルミニウム－マグネシウム合金めっき鋼板（JIS G 3323） 6) 高耐候性圧延鋼材（JIS G 3125） 7) アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板（国土交通大臣認定不燃材料：NM-8027） ・表面塗装：1)～6)のいずれか一仕様又は組み合わせ 1) アクリル樹脂系塗料 2) アクリルウレタン樹脂系塗料 3) アクリルシリコン樹脂系塗料 4) ふっ素樹脂系塗料 5) エポキシ樹脂系塗料 6) 無機質系塗料 ・有機質量：200(±20)g/m²以下（有機固形分）</p> <p>[2] 形状 ・鋼板厚さ：0.35 以上 ・働き幅：(1)～(4)のいずれか一仕様 (1) 差込式：100(±10)以上 500(±50)以下 (2) 重ね式：100(±10)以上 725(±72)以下 （但し働き幅が 500 を超える場合は、中央部に 1 か所以上ねじ留め） (3) ハゼ締式：100(±10)以上 500(±50)以下 (4) 勘合式：100(±10)以上 500(±50)以下 ・断面形状：平板又は凹凸板（図 5、図 6、図 7 参照） ・山高さ：30 以下</p> <p>[3] 固定方法：(1)～(4)のいずれか一仕様 (1) 差込式： ・差込代：9 以上 (2) 重ね式： ・重ね幅：15 以上 (3) ハゼ締式： ・ハゼ高さ：15 以上 (4) 勘合式 ・勘合代：9 以上</p> <p>[4] 張り方： 縦張り又は横張り</p> |

つづき

(寸法単位：mm)

| 項 目 | 仕 様 |
|-------|-----|
| 外装下張材 | なし |

つづく

| 項 目 | 仕 様 |
|-------|---|
| 構造用面材 | <p>材料：(1)～(4)のいずれか一仕様</p> <p>(1)木質系ボード</p> <p>材質：1)～7)のいずれか一仕様</p> <p>1)構造用合板 (JAS)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>2)構造用パネル (JAS)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>3)製材 (JAS)</p> <p>・厚さ：13 以上</p> <p>4)パーティクルボード (JIS A 5908)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>5)構造用MDF (JIS A 5905)</p> <p>・厚さ：9以上</p> <p>・密度：0.70g/cm³以上</p> <p>6)シージングボード (JIS A 5905)</p> <p>・厚さ：12以上</p> <p>・密度：0.33～0.42g/cm³</p> <p>7)ハードファイバーボード (JIS A 5905)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>(2)セメント板</p> <p>材質：1)～8)のいずれか一仕様</p> <p>1)スレート板 (JIS A 5430)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>2)けい酸カルシウム板 (JIS A 5430)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>3)硬質木毛セメント板 (JIS A 5404)</p> <p>・厚さ：15 以上</p> <p>4)硬質木片セメント板 (JIS A 5404)</p> <p>・厚さ：12 以上</p> <p>5)両面アクリル系樹脂塗装／パルプ・けい酸質混入セメント板 (国土交通省大臣認定番号：QM-0457)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>6)繊維強化セメント板 (国土交通省大臣認定番号：NM-8576)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>7)繊維混入けい酸カルシウム板 (国土交通省大臣認定番号：NM-8578)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>8)パルプ混入けい酸カルシウム板 (国土交通省大臣認定番号：NM-0656、NM-2601)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> <p>(3)火山性ガラス質複層板 (JIS A 5440)</p> <p>・厚さ：9 以上</p> |

| 項 目 | 仕 様 |
|----------------|--|
| 構造用面材 (つづき) | <p>(4) せっこうボード 材質：1)～6)のいずれか一仕様</p> <p>1) せっこうボード (JIS A 6901) ・厚さ：9.5 以上</p> <p>2) 強化せっこうボード (JIS A 6901) ・厚さ：12.5 以上</p> <p>3) ガラス繊維不織布入せっこう板 (国土交通省大臣認定番号：NM-9354) ・厚さ：9.5 以上</p> <p>4) 両面ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通省大臣認定番号：NM-9692) ・厚さ：9.5 以上</p> <p>5) 両面ボード用原紙張／せっこう板 (国土交通省大臣認定番号：NM-4127) ・厚さ：9.5 以上</p> <p>6) ボード用原紙張／ガラス繊維混入せっこう板 (国土交通省大臣認定番号：QM-0954-1、QM-0955-1、RM-0059) ・厚さ：9.5 以上</p> |
| 外張断熱材 | <p>材料：(1)、(2)又は(3)のいずれか一仕様</p> <p>(1) フェノールフォーム保温板又はフェノールフォーム断熱材 (JIS A 9511 又は JIS A 9521) ・厚さ：20(±2)～100(±2) ・密度(基材)：29(±3)～41(±4) kg/m³ ・面材(両面)：1)～4)のいずれか一仕様</p> <p>1) ポリエステル不織布 ・使用量 10(±1)～30(±3)g/m²(片面)</p> <p>2) ポリプロピレン不織布 ・使用量 10(±1)～30(±3)g/m²(片面)</p> <p>3) ポリエチレン加工紙 ・使用量 10(±1)～30(±3)g/m²(片面)</p> <p>4) なし</p> <p>(2) フェノールフォーム保温板充てん／両面エポキシ系樹脂塗装アルミニウム合金はく (国土交通大臣認定不燃材料：NM-3815) ・厚さ：20(±2)～100(±2)</p> <p>(3) 裏面ポリエチレン系樹脂塗装炭酸カルシウム紙張／フェノールフォーム保温板裏張 ／アクリル系樹脂塗装パルプガラス繊維混入けい酸マグネシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-3751) ・厚さ：20(±2)～34.46(±2)</p> |
| 充てん断熱材 | <p>仕様：(1) 又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) あり</p> <p>材料：1)又は2)のいずれか一仕様</p> <p>1) グラスウール又はグラスウール断熱材(JIS A 9504 又は JIS A 9521) ・厚さ：20 以上 ・密度：10kg/m³ 以上</p> <p>2) ロックウール又はロックウール断熱材(JIS A 9504 又は JIS A 9521) ・厚さ：20 以上 ・密度：24kg/m³ 以上</p> |

| 項 目 | 仕 様 |
|-----|--|
| 内装材 | <p>材料：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)せっこうボード (JIS A 6901)</p> <p>・厚さ 12.5 以上</p> <p>(2)強化せっこうボード (JIS A 6901)</p> <p>・厚さ 12.5 以上</p> |

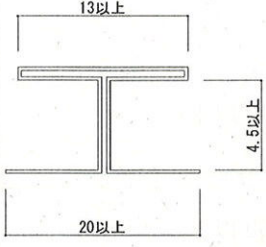
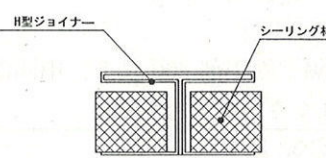
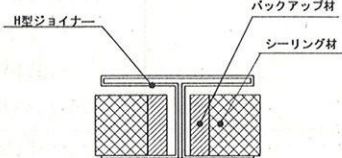
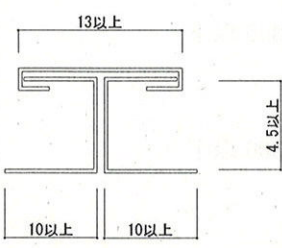
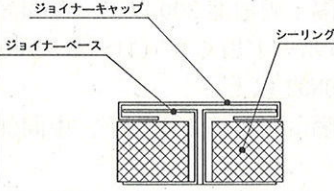
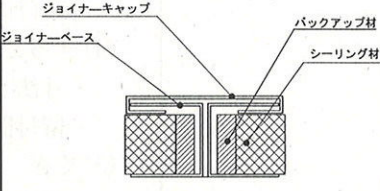
(2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

| 項 目 | 仕 様 |
|----------|--|
| 胴縁 | 材料：日本農林規格の品質に適合する木材（製材、集成材又は単板積層材等） ・ 寸法：一般部 45×15以上 継ぎ目部 45×15以上×2本又は90×15以上 ・ 取付間隔：500 以下 ・ 方向：縦又は横 |
| 受材 | [1]構造用面材用 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)なし (2)あり 材料：1)又は2)のいずれか一仕様 1)木材（製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法構造用製材または構造用たて継ぎ材、無等級材） 2)合板 ・ 寸法：12×40 の断面寸法以上 [2]内装材用 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)なし (2)あり 材料：1)又は2)のいずれか一仕様 1)木材（製材、集成材、単板積層材、枠組壁工法構造用製材または構造用たて継ぎ材、無等級材） 2)合板 ・ 寸法：12×40 の断面寸法以上 |
| 防水紙 | 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)なし (2)あり 材料：1)、2)のいずれか一仕様 1)アスファルトフェルト（JIS A 6005） ・ 単位面積質量の呼び：430g/m ² 以下 2)透湿防水シート（JIS A 6111） ・ 材質：①、②又は③のいずれか一仕様又は組み合わせ ①ポリエチレン ②ポリエステル ③ポリプロピレン ・ 表面アルミニウム蒸着仕上げ：①又は②のいずれか一仕様 ①あり ②なし |
| 防湿気密フィルム | 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)なし (2)あり 材料：1)～4)のいずれか一仕様 1)住宅用プラスチック系防湿フィルム（JIS A 6930） ・ 厚さ：0.2 以下 2)包装用ポリエチレンフィルム（JIS Z 1702） ・ 厚さ：0.2 以下 3)農業用ポリエチレンフィルム（JIS K 6781） ・ 厚さ：0.2 以下 4)ポリエチレン系フィルム ・ 厚さ：0.2(±0.02) 以下 |

つづく

| 項 目 | 仕 様 |
|------------------------------------|--|
| 外装目地材 (外装材横張時 で目地を設ける 場合) | <p>仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)建築用シーリング材、バックアップ材及び金属ジョイナーの併用</p> <p>(2)建築用シーリング材及び金属ジョイナーの併用</p> <p>材料：</p> <p>1)建築用シーリング材 (JIS A 5758)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①アクリル系樹脂 ②ポリウレタン系樹脂 ③アクリルウレタン系樹脂 ④ポリイソブチレン系樹脂 ⑤ポリサルファイド系樹脂 ⑥シリコーン系樹脂 ⑦変成シリコーン系樹脂 ・使用量：56 (±5.6) g/m以上 (バックアップ材がない場合は58 (±5.8) g/m以上) <p>2)バックアップ材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑤のいずれか一仕様 ①ポリエチレン系樹脂 ②ポリスチレン系樹脂 ③ポリウレタン系樹脂 ④ポリプロピレン系樹脂 ⑤塩化ビニル系樹脂 ・使用量：2 (±0.2) g/m以上 <p>3)金属ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑩のいずれか一仕様 ①熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) ②塗装熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312) ③熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317) ④塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318) ⑤熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321) ⑥塗装熔融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) ⑦ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744) ⑧熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304) ⑨冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) ⑩熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323) ・厚さ：0.25 以上 ・形状：H形又はジョイナーベース及びジョイナーキャップのいずれか一仕様 <p>目地幅：13以下</p> |

| 項 目 | 仕 様 | | |
|----------------|--|--|---|
| 外装目地材 (つづき) | 金属ジョイナー形状 | 仕様(1) | 仕様(2) |
| |  <p>H形</p> |  |  |
| |  <p>ジョイナーベース ・ジョイナーキャップ</p> |  |  |
| | | | |
| | | | |
| 内装目地材 | 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様 (1)なし (2)あり 材料：1)又は2)のいずれか一仕様、又は1)及び2)の併用 1)せっこうボード用目地処理材（兼用ジョイントコンパウンド、JIS A 6914） ・塗布量：50g/m 以上 2)ガラスファイバーテープ ・厚さ：0.13 以上 ・幅：35 以上 | | |
| 留付材 | [1]外装材用 材料：ねじ ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：呼び径φ3.0 以上×長さ 20 以上 ・留付間隔：500 以下 [2]外装下張材用 材料：(1)、(2)又は(3)のいずれか一仕様 (1)鉄丸くぎ(JIS A 5508) ・寸法：N45 以上 ・留付間隔：500 以下 (2)くぎ ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：φ1.7 以上×長さ 25 以上 ・留付間隔：500 以下 (3)ねじ ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：呼び径φ2.7 以上×長さ 25 以上 ・留付間隔：500 以下 | | |

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|---|
| 留付材 (つづき) | <p>[3]構造用面材用</p> <p>材料：(1)～(6)のいずれか一仕様</p> <p>(1)鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：N32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>(2)太め鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：CN32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>(3)シーリングボード用くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：SN32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>(4)せっこうボード用くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：GN32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>(5)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：$\phi 1.9$ 以上×長さ 32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>(6)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：呼び径 $\phi 3.1$ 以上×長さ 32 以上 ・留付間隔：周辺部 200 以下、中間部 300 以下 <p>[4]外張断熱材用：</p> <p>仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>材料：1)～4)のいずれか一仕様</p> <p>1)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：$\phi 1.7$ 以上×長さ 25 以上 <p>2)粘着層付きテープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①ブチルゴム系 ②EPDM ゴム系 ③アクリル系 ④アスファルト系 ⑤ポリエチレン系 ⑥ポリエステル系 ⑦ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：420 (±42) g/m²以下 <p>3)スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：合成ゴム系樹脂 ・塗布量：100 (±10) g/m²以下 |

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|---|
| 留付材 (つづき) | <p>4) 接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：①～⑧のいずれか一仕様 <ul style="list-style-type: none"> ①エポキシ系樹脂 ②酢酸ビニル系樹脂 ③クロロプレンゴム系 ④アクリル系樹脂 ⑤アクリルウレタン系樹脂 ⑥ポリウレタン系樹脂 ⑦変成シリコン系樹脂 ⑧EVA 系樹脂 ・ 塗布量：350 (±35) g/m²以下 <p>[5] 充てん断熱材用</p> <p>仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>材料：ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・ 寸法：肩幅 10 以上、足長 6 以上 <p>[6] 内装材用</p> <p>材料：(1)～(4)のいずれか一仕様</p> <p>(1)鉄丸くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寸法：N32 以上 ・ 留付間隔：縦 200 以下、横 500 以下 <p>(2)せっこうボード用くぎ (JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寸法：GN32 以上 ・ 留付間隔：縦 200 以下、横 500 以下 <p>(3)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・ 寸法：径φ1.9 以上×長さ 32 以上 ・ 留付間隔：縦 200 以下、横 500 以下 <p>(4)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・ 寸法：呼び径φ3.1 以上×長さ 32 以上 ・ 留付間隔：縦 200 以下、横 500 以下 <p>[7] 胴縁用</p> <p>材料：ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・ 寸法：呼び径φ4.2 以上×長さ 75 以上 ・ 留付間隔：500 以下 (胴縁直交方向) 100 以上 500 以下 (胴縁方向) |

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|--|
| 留付材 (つづき) | <p>[8]受材用 材料：(1)、(2)又は(3)のいずれか一仕様</p> <p>(1)鉄丸くぎ(JIS A 5508)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寸法：N45 以上 ・留付間隔：柱、間柱に 1 本以上／1 箇所 <p>(2)くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：φ2.45 以上×長さ 45 以上 ・留付間隔：柱、間柱に 1 本以上／1 箇所 <p>(3)ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：呼び径φ3.1 以上×長さ 38 以上 ・留付間隔：柱、間柱に 1 本以上／1 箇所 <p>[9]防水紙用 仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり 材料：1)～4)のいずれか一仕様</p> <p>1)粘着層付きテープ（片面・両面）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①ブチルゴム系 ②EPDM ゴム系 ③アクリル系 ④アスファルト系 ⑤ポリエチレン系 ⑥ポリエステル系 ⑦ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：220 (±22) g/m²以下 <p>2)アルミニウムはく付き粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②又は③のいずれか一仕様 ①ポリエチレン系 ②ポリエステル系 ③ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：220 (±22) g/m²以下 <p>3)スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：合成ゴム系樹脂 ・塗布量：100 (±10) g/m²以下 <p>4)ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：肩幅 10 以上、足長 6 以上 ・留付間隔：縦 500 以下、横 500 以下 |

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|---|
| 留付材 (つづき) | <p>[10]防湿気密フィルム用</p> <p>仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>材料：1)～4)のいずれか一仕様</p> <p>1)粘着層付きテープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①ブチルゴム系 ②EPDM ゴム系 ③アクリル系 ④アスファルト系 ⑤ポリエチレン系 ⑥ポリエステル系 ⑦ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：220 (±22) g/m²以下 <p>2)アルミニウムはく付き粘着テープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②又は③のいずれか一仕様 ①ポリエチレン系 ②ポリエステル系 ③ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：220 (±22) g/m²以下 <p>3)スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：合成ゴム系樹脂 ・塗布量：100 (±10) g/m²以下 <p>4)ステーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：鋼製又はステンレス鋼製 ・寸法：肩幅 10 以上、足長 6 以上 ・留付間隔：縦 500 以下、横 500 以下 |
| 気密材 | <p>[1]構造用面材用</p> <p>仕様：(1)又は(2)のいずれか一仕様</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)あり</p> <p>材料：1)、2)又は3)のいずれか一仕様</p> <p>1)粘着層付きテープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①ブチルゴム系 ②EPDM ゴム系 ③アクリル系 ④アスファルト系 ⑤ポリエチレン系 ⑥ポリエステル系 ⑦ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：120 (±12) g/m 以下 |

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|---|
| 気密材 (つづき) | <p>2) アルミニウムはく付き粘着層付きテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②又は③のいずれか一仕様 ①ポリエチレン系 ②ポリエステル系 ③ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：120 (±12) g/m 以下 <p>3) 建築用シーリング材 (JIS A 5758)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①アクリル系樹脂 ②ポリウレタン系樹脂 ③アクリルウレタン系樹脂 ④ポリイソブチレン系樹脂 ⑤ポリサルファイド系樹脂 ⑥シリコーン系樹脂 ⑦変成シリコーン系樹脂 ・使用量：120 (±12) g/m 以下 <p>[2] 外張断熱材用</p> <p>仕様：(1) 又は (2) のいずれか一仕様</p> <p>(1) なし</p> <p>(2) あり</p> <p>材料：1)、2) 又は 3) のいずれか一仕様</p> <p>1) 粘着層付きテープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①～⑦のいずれか一仕様 ①ブチルゴム系 ②EPDM ゴム系 ③アクリル系 ④アスファルト系 ⑤ポリエチレン系 ⑥ポリエステル系 ⑦ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：120 (±12) g/m 以下 <p>2) アルミニウムはく付き粘着層付きテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質：①、②又は③のいずれか一仕様 ①ポリエチレン系 ②ポリエステル系 ③ポリプロピレン系 ・厚さ：1.0 以下 ・使用量：120 (±12) g/m 以下 |

つづき

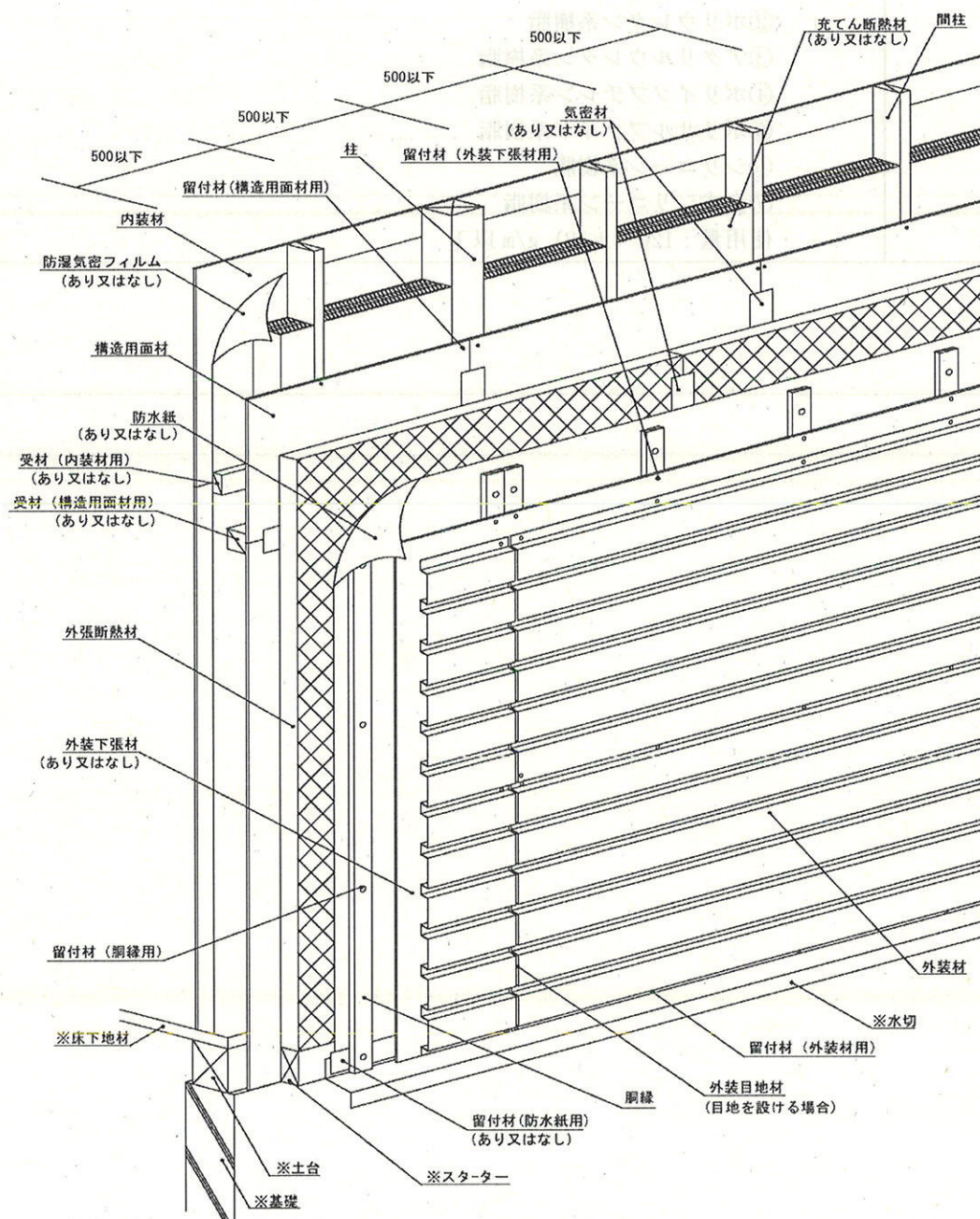
(寸法単位：mm)

| 項 目 | 仕 様 |
|--------------|--|
| 気密材 (つづき) | <p>3) 建築用シーリング材 (JIS A 5758)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材質：①～⑦のいずれか一仕様 <ul style="list-style-type: none"> ① アクリル系樹脂 ② ポリウレタン系樹脂 ③ アクリルウレタン系樹脂 ④ ポリイソブチレン系樹脂 ⑤ ポリサルファイド系樹脂 ⑥ シリコン系樹脂 ⑦ 変成シリコン系樹脂 ・ 使用量：120 (±12) g/m 以下 |

4. 構造説明図

構造説明図を、図1～図7に示す。

(外装材横張り)

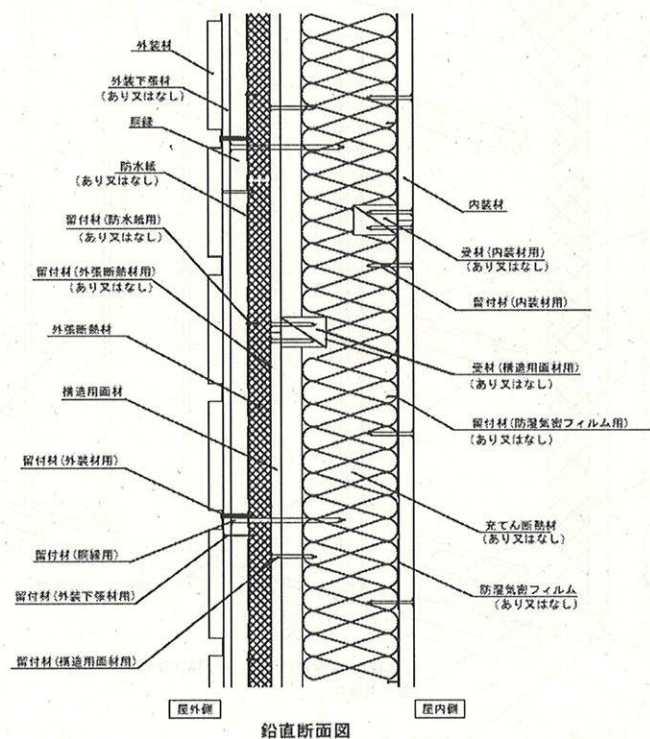
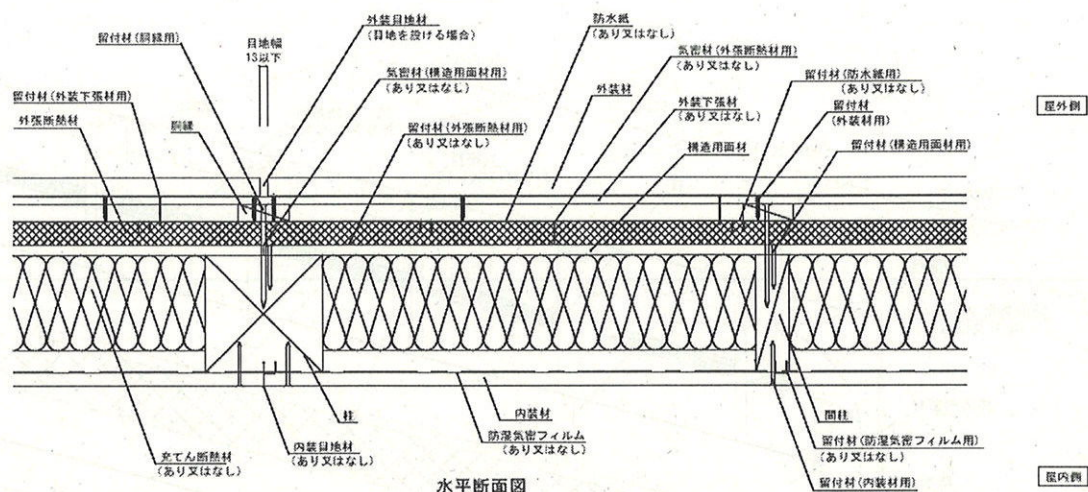


透視図：外装材横張り

図1 構造説明図

注) 寸法および材料構成は3のとおり

※：本評価対象に含まない

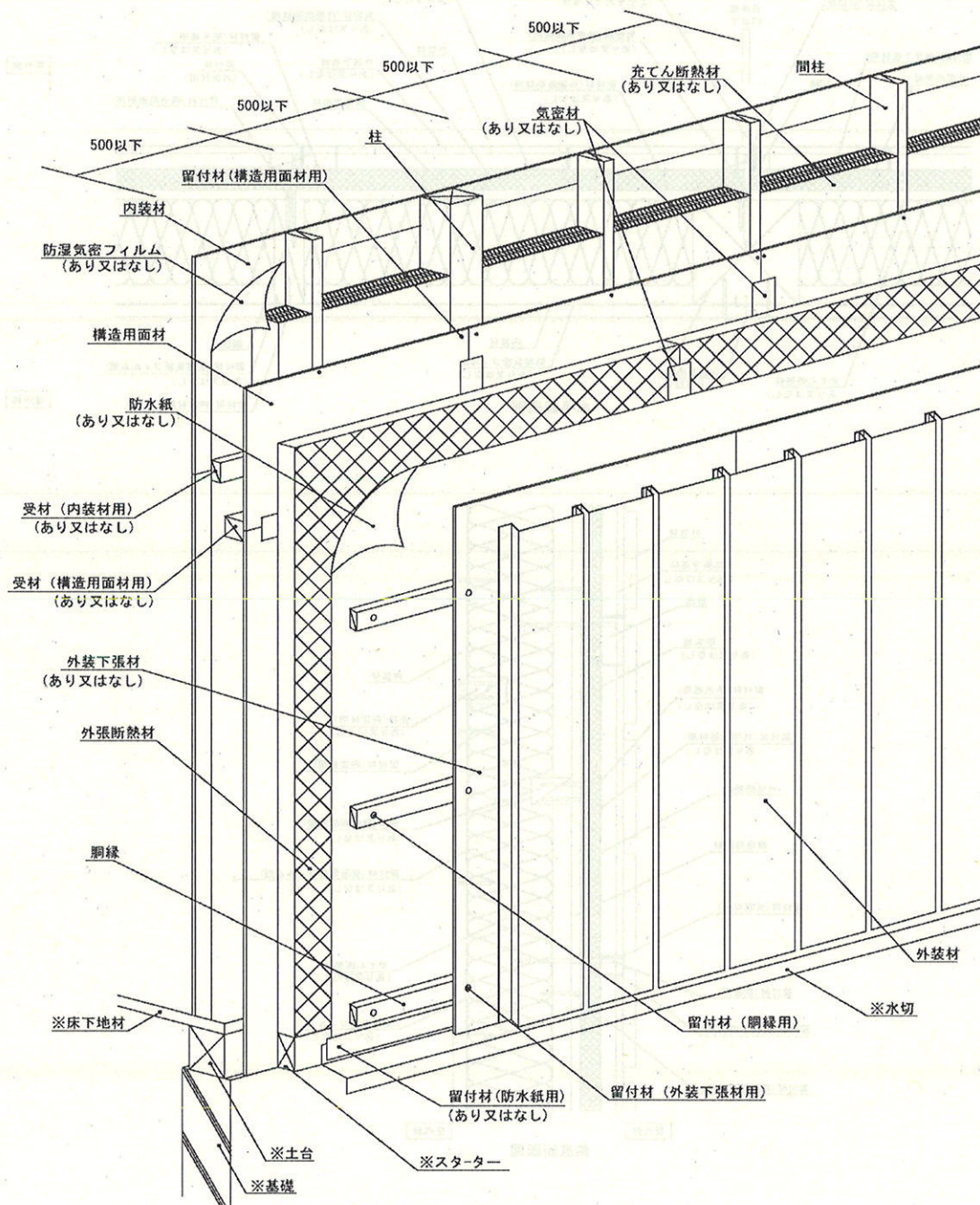


鉛直断面図・水平断面図：外装材横張り

図2 構造説明図

注) 寸法および材料構成は3のとおり

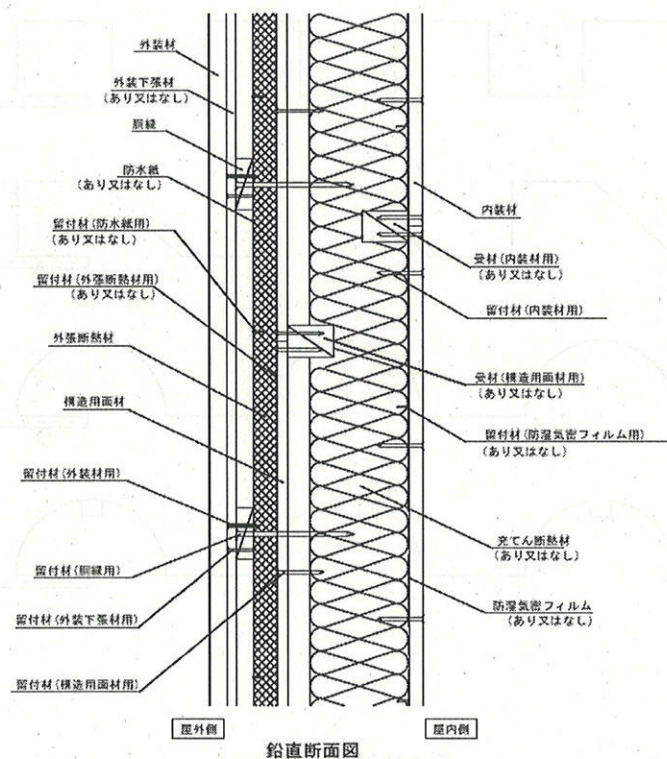
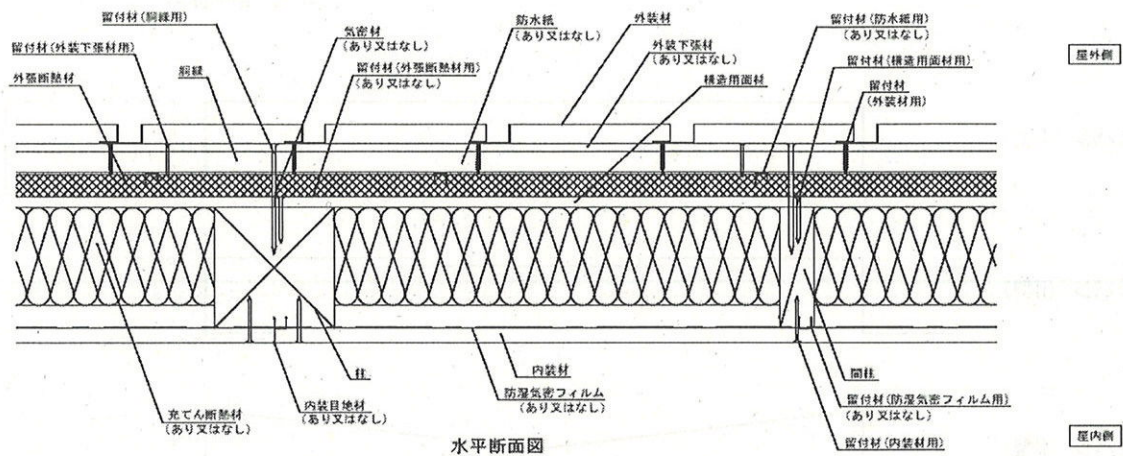
(外装材縦張り)



透視図：外装材縦張り

図3 構造説明図

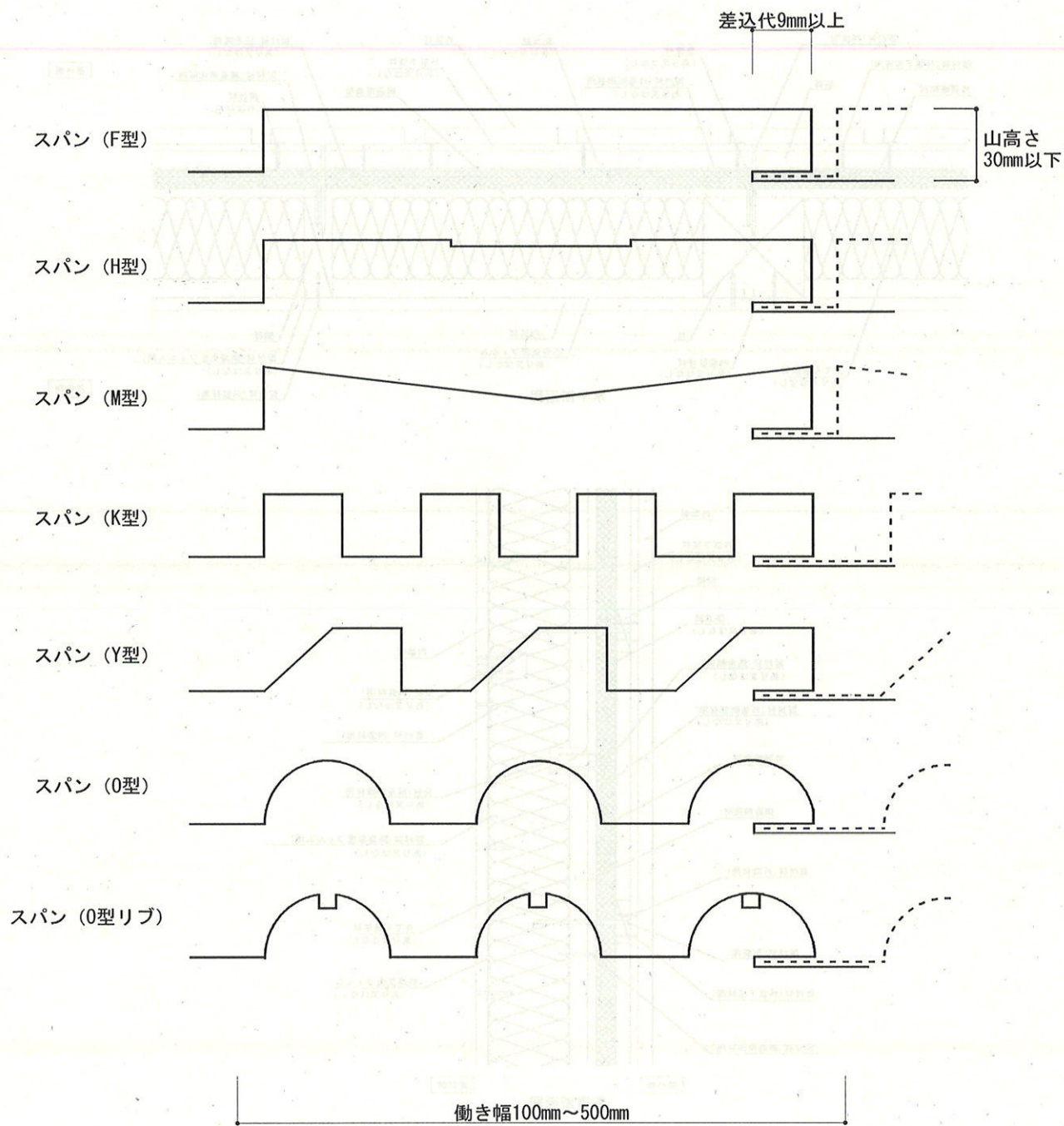
注) 寸法および材料構成は3のとおり
 ※：本評価対象に含まない



鉛直断面図・水平断面図：外装材縦張り

図4 構造説明図

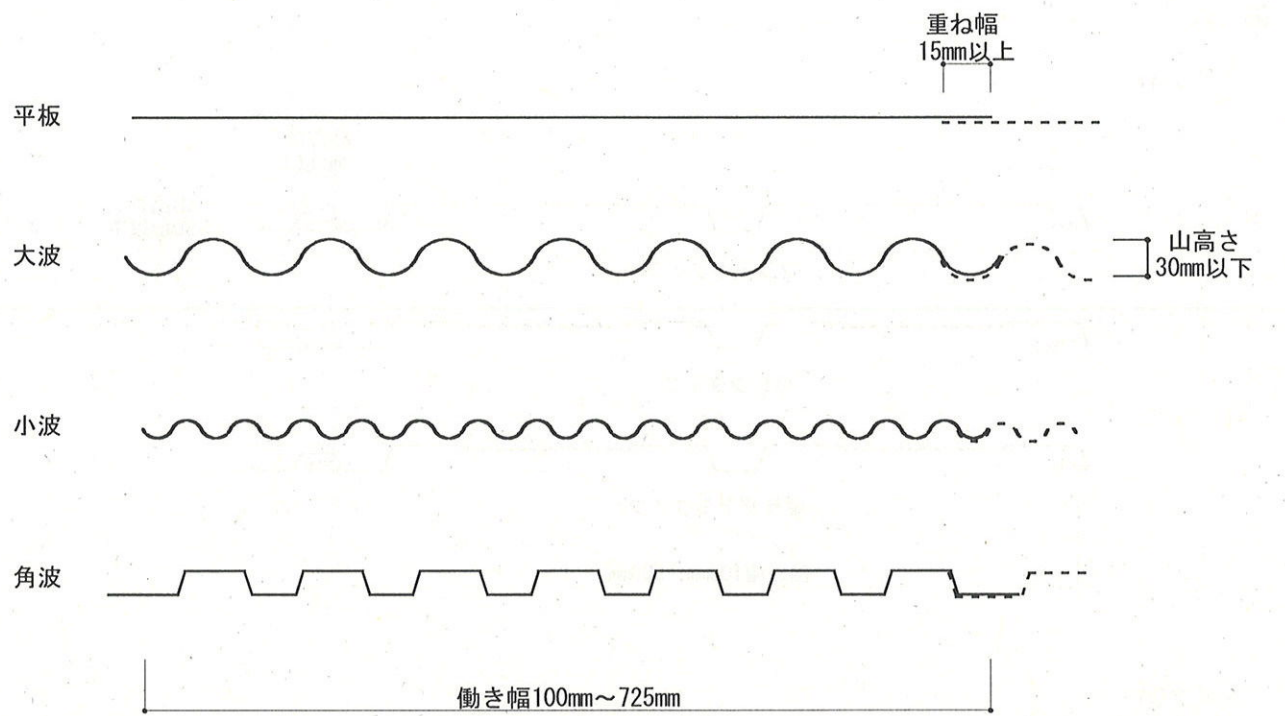
注) 寸法および材料構成は3のとおり



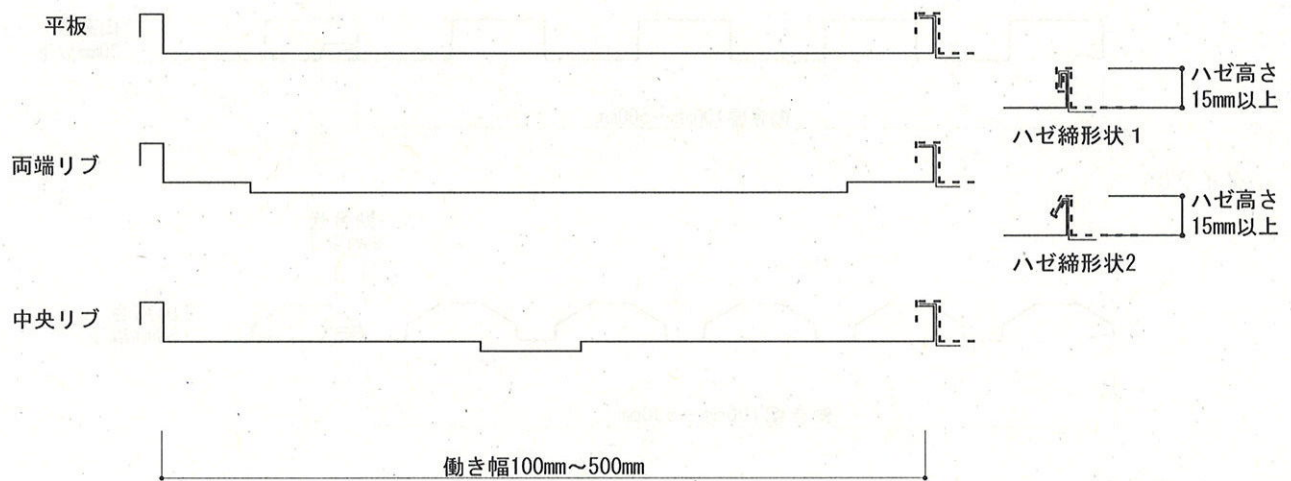
外装材断面形状図：I．差込式

図5 構造説明図

注) 寸法および材料構成は3のとおり



外装材断面形状図：Ⅱ．重ね式



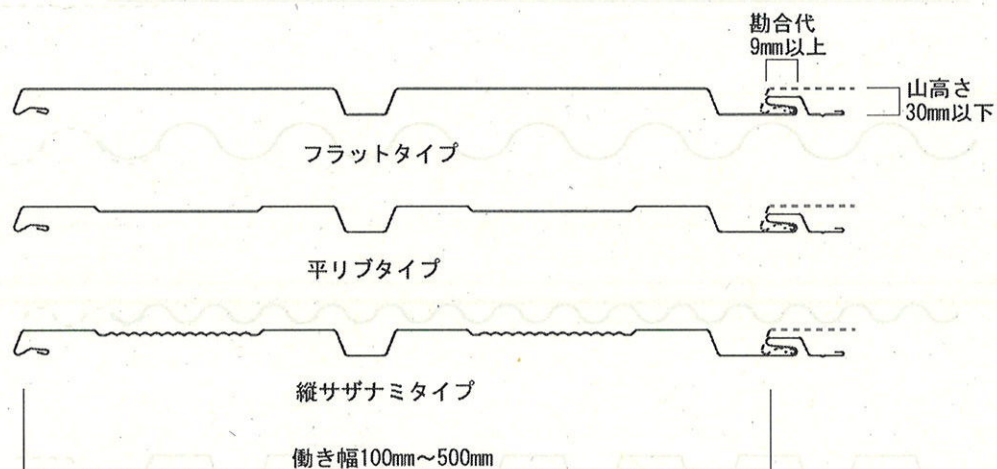
外装材断面形状図：Ⅲ．ハゼ締式

図6 構造説明図

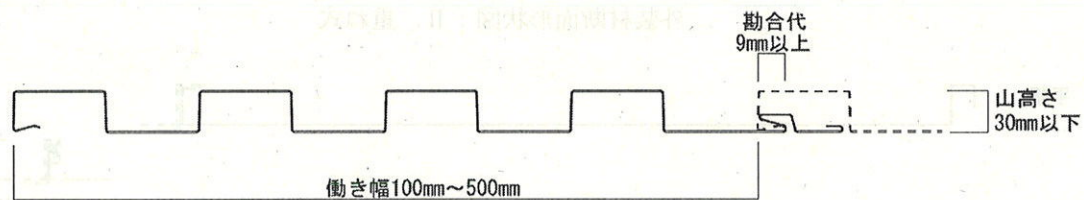
注) 寸法及び材料構成は3のとおり

勘合式：

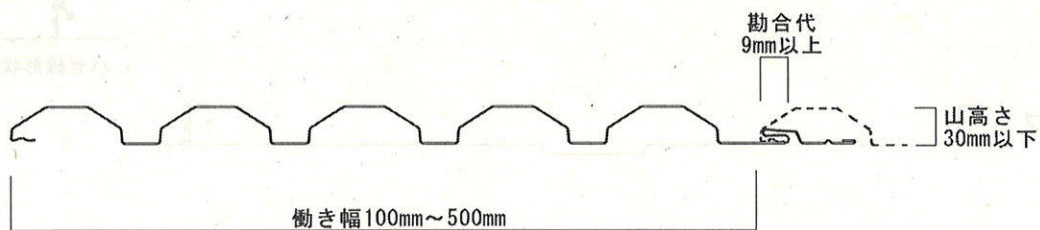
タイプ①



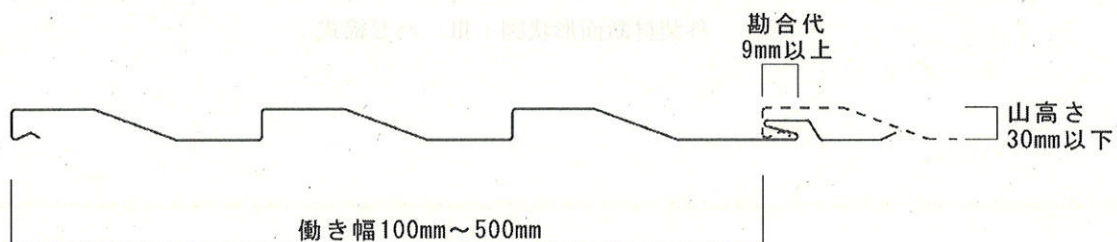
タイプ②



タイプ③



タイプ④



外装材断面形状図：IV．勘合式

図7 構造説明図

注) 寸法及び材料構成は3のとおり

5. 施工方法等

<施工手順>

施工は以下の手順で行う。

1) 下地組等

柱及び間柱は、反り曲がりのないものを土台に垂直に使用し 500mm 以下の間隔で取付ける。

2) 構造用面材の取付け

構造用面材（製材を含む）は、柱及び間柱の上に構造用面材用留付材を用い、隙間が生じないように取付ける。

3) 外張用断熱材の取付け

外張用断熱材（旭化成建材（株）製）は、構造用面材の上に外張用断熱材留付材を用いて、隙間が生じないように取付ける。

4) 防水紙の張付け（防水紙を用いる場合）

防水紙は、重ね代を縦 100mm 以上、横 100mm 以上とり、防水紙用留付材を用いて仮留する。
なお、張付ける際にはたるみ・しわのないように張付ける。

5) 胴縁の取付け

胴縁は胴縁用留付材を用いて柱または間柱に取付ける。

6) 外装下張材の取付け（外装下張材を設ける場合）

外装下張材は、外装下張材用留付材を用いて胴縁の上に取付ける。

7) 外装材の取付け

- ・外装材の張り方は、縦張または横張とする。
- ・片側は外装材固定用留付材を用いて固定し、反対側は鋼板の差込により接合する。（差込式）
- ・外装材の重なり部分に外装固定用留付材を用いて固定する。（重ね式）
- ・外装材の重なり部分に外装固定用留付材を用いて通し吊り子を固定し、ハゼ締めで固定する。（ハゼ締め式）
- ・片側は外装材固定用留付材を用いて固定し、反対側は鋼板の勘合により接合する。（勘合式）

8) 断熱材の充てん

充てん用の断熱材は柱及び間柱間に断熱材固定用留付材を用いて、隙間が生じないように取付ける。

9) 防湿気密フィルムの張付け（防湿気密材フィルムを用いる場合）

防湿気密フィルムを張付ける場合は、防湿気密フィルム用留付材を用いて張付ける。
なお、張付ける際は重ね代を 100mm 以上とり、たるみ、しわのないように張付ける。

10) 気密材の取付け（気密材を設ける場合）

気密材を構造用面材、外張断熱材の目地部に取付ける。

11) 内装材の取付け

内装材は内装材用留付材を用い、柱及び間柱の表面に留付ける。
目地部には、必要に応じて内装材用目地処理材を施す。